

基礎看護学実習Ⅰ

〔2単位 60時間〕

目的

地域で生活する人々を支えるための看護活動の場と機能や役割を知る。また、療養環境の実際を知り、コミュニケーションを通して療養生活を送る人々の思いや考えに触れることができる。

目標

- 1 看護学生として基本となる姿勢や態度を身につける。
- 2 地域における施設の機能と役割を知る。
- 3 看護師の役割と活動について知る。
- 4 療養環境の実際を知る。
- 5 対象に関心を寄せ、自らコミュニケーションをとることができる。

実習時期及び実習時間

1年次 6月 8日間程度

基礎看護学実習Ⅱ

〔2単位 60時間〕

目的

療養生活を送る対象に関心を寄せ、理解し、その人に必要な看護援助を考える。

目標

- 1 対象に関心を寄せ、常に尊重した態度で接することができる。
- 2 対象を理解するために必要な情報を収集できる。
- 3 対象に必要な援助を考え、安全・安楽・プライバシーに配慮した計画が立案できる。
- 4 実施前・中・後の対象の反応を観察しながら看護援助が実施できる。
- 5 実施した援助が効果的であったか省察できる。
- 6 省察した結果を次の看護援助に活かすことができる。
- 7 チームの一員として責任ある行動をとり、積極的に学習を継続できる。

実習時期及び実習時間

1年次 11月 7日間程度

基礎看護学実習Ⅲ

〔3単位 90時間〕

目的

対象の健康回復を支援するための看護を考え、実践するための基礎的能力を養う。

目標

- 1 対象の状態をアセスメントし、対象理解を深めることができる。
- 2 解釈・判断したことから看護上の問題を見出すことができる。
- 3 看護上の問題を解決するための看護計画が立案できる。
- 4 対象の状況に合わせた看護援助が実施できる。
- 5 実施した看護援助を評価し、計画を修正できる。
- 6 専門職業人を目指すものとしての自覚を持ち、チームの一員として行動ができる。
- 7 実習での経験を通し自己の看護観を深め、学びと課題を表現できる。

実習時期及び実習時間

2年次 12日間程度